

『Mind Charging』

第 14 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 4 月 29 日

ココ・シャネルの名言



My life didn't please me, so I created my life.

私の人生は楽しくなかった。だから私は自分の人生を創造したの。

さすがは誰もが知る世界の超有名ブランド『シャネル』のデザイナーとして活躍した彼女。人生さえもデザインしたというわけですね。彼女の人生は波乱に満ちていたようですが、それでもこのように言える強さに対して『すごい』の一言に尽きます。

ただ、このようにインパクトのある言葉を使って表現すると、あたかも誰も成し遂げられない偉業のように感じますが、誰もが自分の人生を『こうしたい！』という理想がきつとあるはずです。そして、その理想に少しでも近づけるように努力をしているということは、みなさんも自分の人生を創造している、偉業達成の準備中と言えるのではないのでしょうか。

～なりたい自分がきつとある～ 正智深谷高等学校がみなさんの自己実現のステージであってほしいと願っています。

(編集委員：入試広報室 鈴木)

ココ・シャネル(Coco Chanel、出生名：ガブリエル・シャネル(Gabrielle Chasnel)またはガブリエル・ボヌール・シャネル(Gabrielle Bonheur Chanel)、1883年8月19日 - 1971年1月10日)はフランスのファッションデザイナー、企業家。彼女が創設したシャネルブランドは世界有数のファッションブランドとして現在も営業している。20世紀初頭からファッションデザイナーとして活躍し、一時的な活動停止を経て、その死に至るまで世界の代表的なファッションデザイナーであり続けた。戦間期における彼女のデザインは女性の社会進出が進んでいた当時の世相と適合し、世界のファッションスタイルに大きな影響を与えた。婦人服へのジャージー生地を導入、日常生活における利便性とファッション性を両立したスーツ、リトル・ブラック・ドレス(LBD)の概念の普及など、彼女がファッションに残した遺産は現代のファッションにも多大な影響を残しており、これらを通じてスポーティー、カジュアル・シックな服装が女性の標準的なスタイルとして確立されたとされている。さらに高級婦人服の枠組みを超えて影響力を広げ、ジュエリー、ハンドバッグのデザイン、香水の制作も行った。香水のシャネル No.5 は彼女を象徴する製品となった。また彼女自身がデザインした有名な「C」を 2 文字組み合わせさせたモノグラムは 1920 年代から使用されており、現在でもシャネル社のシンボルとなっている。その影響の大きさから、彼女は『タイム』誌の 20 世紀の最も重要な 100 人(英語版)にファッションデザイナーとして唯一リストされている。(Wikipedia 参照)